

「広報うつのみや」(昭和25年4月1日発行)の中から、昭和を感じさせる懐かしい記事をご紹介します。



昭和の記憶

～あんトキの記事から～



市民長距離競走大会

(広報うつのみや昭和50年11月15日号)

長距離競走の技術向上と愛好者を増やすために、第8回市民長距離競走大会を次のように開きます。昨年の大会には、オープン参加の中学生や69歳の方を含めて約300人が参加しました。今年も多数の参加をお待ちします。

期日 12月14日(日) 午前9時陽西中に集合、午前10時スタート。雨天でも行います。

コース 陽西中―新里街道―畑中折り返し、往復16km。ただし、中学は往復4km、高校・一般は全コース、壮年(40歳以上)は往復6kmの個人レース。

その他 この大会で優秀な成績をあげた選手を、第17回栃木県都市対抗駅伝の宇都宮市代表として推薦します。

(一口メモ) 「市民長距離競走大会」は、昭和44年2月に第1回が開催され、参加者は28人でした。昭和55年には国体で整備された県総合運動公園内のコースで行われ、大会名も「市民マラソン大会」と変更されました。市制90周年を迎えた昭和61年から、現在の「宇都宮マラソン大会」になりました。

暮らしと交通のいい関係

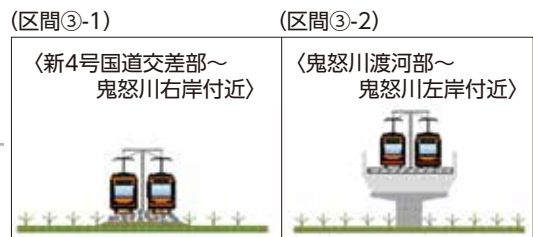
LRT

今回は、LRTの導入空間について紹介します。

質問 LRTの導入により、道路空間はどのように変わるの？

答え LRTの軌道(レール)は、基本的に今ある道路空間の中央部に敷設し、図の区間③では、新たにLRT専用の橋などを整備します。また、交通シミュレーションを用いた検証や関係機関との協議を踏まえ、一部区間の高架化や車線数の維持、交差点の改良などにより、円滑な交通を確保します。

▼LRT導入ルート図と主な導入空間イメージ(※以下の内容は現在の検討状況であり、確定したものではありません。) 〇 LRT整備推進室 ☎(632)2304 土木管理課 ☎(632)2585



▲LRT専用の走行空間や橋を整備します。また、鬼怒川左岸付近は軌道を高架化します。



▲車線数を6車線から4車線にします。

▲車線数を4車線から3車線にし、東進方向は2車線を確保します。

▲清原中央通りの緑地帯に軌道を敷設するほか、野高谷交差点付近は、軌道を高架化します。

▲道路を拡幅することで、4車線を維持します。

◎**ドッグウォーク(放置フン防止啓発イベント)を開催** ▽日時 11月16日(日)午前10時～正午▽会場 長岡公園(長岡町)▽内容 犬と一緒に放置フン清掃活動やゲーム。ペットの飼い方相談▽対象 市内在住の犬の飼い主と飼養犬▽申込 11月11日までに、電話またはEメール(住所・氏名・電話番号を明記)で、生活衛生課☎(626)1108、✉u19070200@city.utsunomiya.tochigi.jpへ。